福祉用具ヒヤリハット　研修教材（講師用）

Case：407

歩行器を手すり代わりに立たせていたら、ブレーキがかかっておらず転びそうになった

場面の説明

入浴後、歩行器を手すり代わりに頼らせて目を離したところ、ブレーキがかかっていなかったため転倒しそうになった

利用シーン	移動
主な利用場所	浴室・脱衣所
介護保険の種目	歩行器
分類コード (CCTA95)	120606 (歩行車)
介護テクノロジー	ー
二次元バーコード	

解説

入浴後で疲れがあったことも考えられます。立たせたまま髪のケアなどを行うなどのときも同様ですが、たとえブレーキを確認していても歩行器を手すり代わりにすることはやめ、椅子を用意しましょう。やむを得ず立ったままの姿勢でケアをする際には手すりを利用し、また目を離さないなど作業手順を考慮しましょう。

参考要因（要因の例であり、これだけが正解ということではありません）

人：いつもの手順だったので、ブレーキにも特段の注意を払わなかった
環境：脱衣室が狭く、椅子を用意することができなかった
管理：作業手順を検討したことがなかった

作成：公益財団法人テクノエイド協会
Copyright 2025 Association for Technical Aids, Inc. All Rights reserved.